

1 1 5 俯いた若い収税人がマタイではない決定的理由

ウィキペディア解説（2024）は誤り

2024

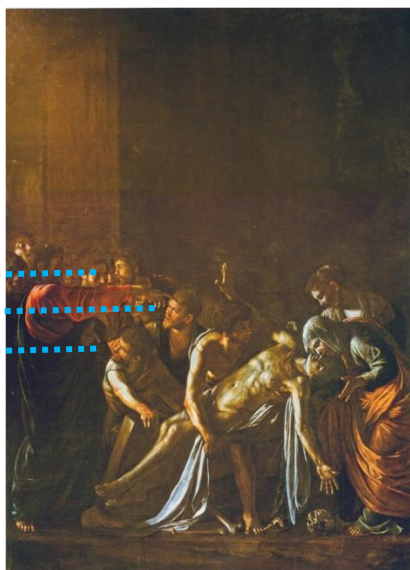
真鍋友範



1 左右空間圧縮画法

まず、知っておかなければならない重要な事実とは、【描かれた位置にイエスとペテロが存在しているのでは無い】、という事実だ。

カラヴァッジョは、《ラザロの復活》でも、《聖ウルスラの殉教》でも、《聖マタイの召命》と同じく、本当は、関係人物の視線の先に存在しているか、あるいは数メートル離れた位置にいるという前提で描かれていることに、鑑賞者は気付かなければならないのだ。



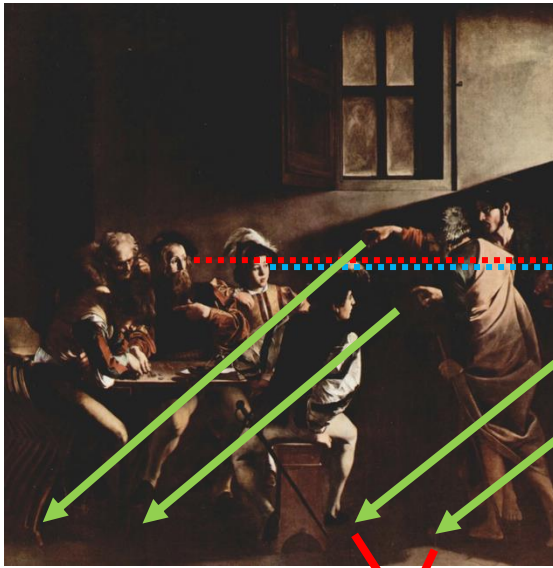
イエスの立ち位置

*ラザロの周りの墓掘人夫は、イエスの後ろを見ているのでは無い。彼らの視線の先にイエスが立っているのだ。墓掘人夫達の視線は、イエスの位置を示す為に描かれている。



* 《聖ウルスラの殉教》フン族の王の射た弓矢は、数メートル先の聖ウルスラの胸に刺さる瞬間の画像。両者がこの通り目の前に対峙していると誤解してはいけない。いわば、このような場面に接した鑑賞者の、理解への第一歩なのだ。

2 実際には両者は指差していないが、仮に、イエス・ペテロが【下方を指差している】のなら



ペテロ・イエスの実際の位置はここ

*イエス・ペテロは床を指差していることになる！

【下方を指差しているという解説】は、イエス達は数メートル右側に存在しているという絵画の内容上、明らかに解説の根拠が破綻しているのだ。

ウィキペディアの執筆者は、《聖マタイの召命》におけるイエス達の実際の立ち位置に気づいていない。

3 髭男の左手の動作

髭男の左手は、「私ですか」でも「うつむいた若者ですか」でも、単純に「隣の人ですか」でもない。

人差し指だけの動作なら、自分自身ではなく、第三者を指差しているが、髭男の左手親指が上方に向いて立てられている。

小生の研究結果では、【カラヴァッジョが人差し指と親指を同時に示した動作】では、【対比する2対象があることを示している。】

その根拠は、カラヴァッジョの描いた《ロザリオの聖母》にある。



* 《ロザリオの聖母》の右手に注目。親指が立てられている。
この場合、意味は、「イエスの教えを、あなた（聖ドメニコ僧）が民衆に伝えなさい」だ。聖ドメニコ僧は聖母の伝達内容を受け入れている。

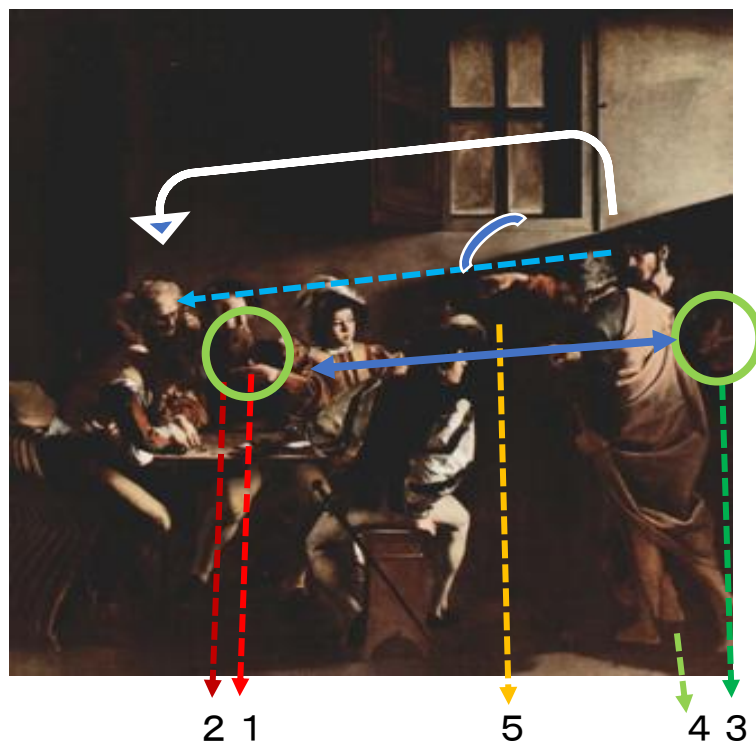


* 髭男の動作は、「ご用の人は、私ですか（親指を自分の胸に向ける動作）、それとも隣の人ですか（人差し指を隣に向ける動作）」だ。つまり2者択一の連続質問動作と理解できる。

4 結論

これら、2つの根拠により、俯いた若い収税吏は、召命の対象者では無い。
ウィキペディアの解説は、誤りだ。

5 参考資料



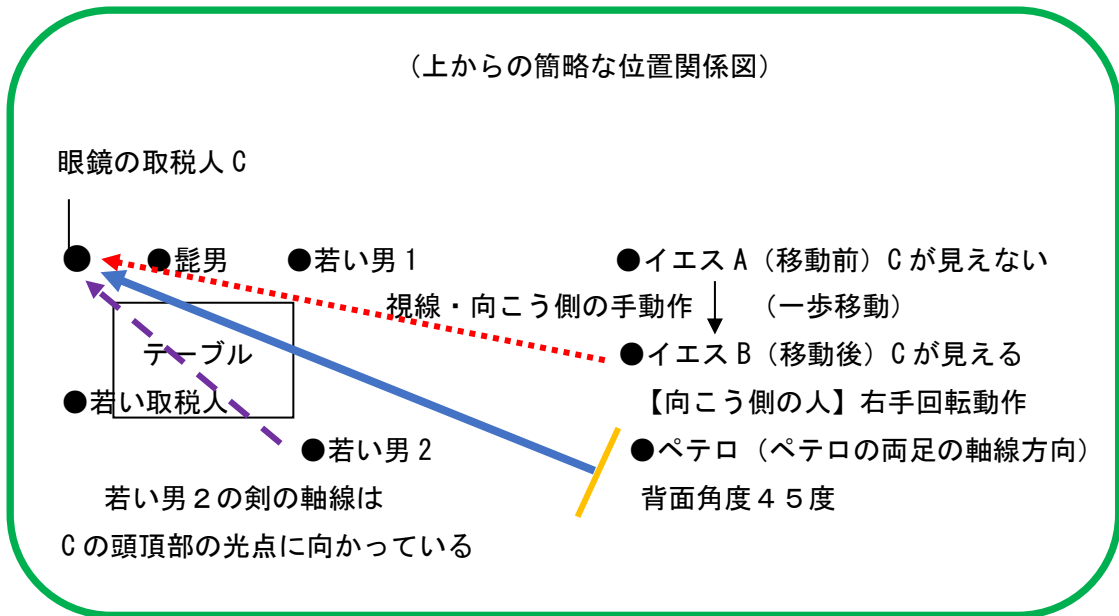
- 1) 親指を胸に当てる髭男の動作「私をお探しですか」の瞬間
- 2) 人差し指の動作「それとも、隣の眼鏡の老収税人ですか」の瞬間
- 3) イエスの【開いた左手】による質問応答動作【答えよう】の瞬間
- 4) イエスの【右足が一步左側へ位置移動】した瞬間
その意味は【眼鏡の老収税人の顔が見える位置への視点移動】
- 5) イエスの【右腕・手首の回転動作】の完結した瞬間
【手首より先に力無し・指差し動作では無い。召命対象者の顔付近でイエスの回された手は止まる。】「向こう側の眼鏡の人だ。」の意味
この場面でイエスは言う。「私に従いなさい。」

髭男の二段階質問動作 □ イエスの3段階回答動作

身体動作による連続五段階コマ送り動画

呼ばれたのは、腰を曲げて机に寄りかかる眼鏡の老収税吏

(上からの簡略な位置関係図)



* 詳しくは、《眼鏡の聖マタイ》2013 真鍋友範 参照